

日伯新聞

サンパウロ市
サンショウキン街六八
部屋 三七五
電話セントラル六一八三
本紙定期費年廿五ミル
發行所 日伯社

ビタシオ・ベッソア氏は七日リ
オに到着した

きりそり
て手紙の
うへには
らるべし
一、御送金の伯貨は當店にて受取り當日
の爲替相場にて日本金に換算可致候
二、日本内地郵便爲替料、書留料其他總
て當店にて負擔致し即全無手數料
三、金子はコンバロール、郵便爲替又は
猶ほ横濱正金銀行湖定としてパンコ
コンメルシアルエスター、デ、サン
バクメル又は御便宜の方はパンコノロ
エスラード、エスター、デ、サンバウ
ロヘ御拂込被下ても差支へ無之候
四、何れにしても送金申込書は必ず忘れ
ず、常に當店へ御送り被下度候

THE YOKOHAMA SPECIE BANK, Ltd.
RUA DA CANDELARIA 23
Caixa, 380
RIO DE JANEIRO

預金 全百貨全 壹ヶ年以上年五分
伯貨當座預金(小)一年 四分五分
不審の點は御遠慮なく御問合せ被下度候
御送金用紙は御請求次第直に御送り可致
預金通帳は書留郵便にて御送附可申上候
間御申込之際最寄郵便局御指定相成候は
御便宜に有之候 敬具

聖州政府の ジユキヤ線買收

未だ聖州政府の發表には接しないが南聖鐵道即ちジユキヤ線を以て買收の契約をなした事は事實である。そもそも全鐵道は聖州の有する最も大なる瘤とする策として已に計畫されたものがソロカバナ線のマイリンク

聖州政府が英國の資本からなる南聖鐵道會社より六十万ポンドを以て買收資金調達困難のため全契約は買收されず今日に至つたものである。

カルロス氏の弟シルビオ・カンボス氏を社長とする彼のイタリアー、アルツール鐵道會社と前記南聖鐵道會社との間に昨年十二月三十一日迄に六十万ポンドの支拂をなし今年一月一日よりイタラー、アルツール鐵道會社と名に於て營業するとの賣買契約が既に成立してゐたのであつたが買收資金調達のため全契約は復行されず今日に至つたものである。

わが邦人と密接なる關係を有するジユキヤ線をして更に現在及將來に於ける邦人植民者の集閑地帶なるオウリニヨス、カンバラ、コンゴンニヤ、レジス、トロ等を連絡せしめんとする新計画を有するイタラーフアル

聖州政府はその鐵道會社が全鐵道の買收契約を結んだことは吾々が衷心から喜びに甚へなかつたことであつたが遂に實現を見ず、同鐵道の將來に對し多少の憂慮を得たことは同地方に於ける邦人發展のため誠に好都合の事といふある。殊にサントス、聖市間鐵道を唯一の、しかも外國會

の所に於ては弊害があるが強力なる政黨が壓倒的勢力を有してゐるがブランジルの如き國ではより以上の缺陷と弊害を生じて

無記名投票の 婦人參政權

聖州政府にこの企畫あること疑ふまでもないことで一日も早く其の實現を見ることは吾人の切

で延長せしめねば効はない勿論州政府にこの企畫あること疑ふまでもないことで一日も早く

其の實現を見ることは吾人の切

は聖州の有する最も大なる瘤とする策として已に計畫されたものがソロカバナ線のマイリンク

聖州政府が英國の資本からなる南聖鐵道會社より六十万ポンドを以て買收の契約をなした事は事實である。そもそも全鐵道は聖州の有する最も大なる瘤とする策として已に計畫されたものがソロカバナ線のマイリンク

聖州政府が英國の資本からなる南聖鐵道會社より六十万ポンドを以て買收の契約をなした事は事實である。

仇討地藏和讚

七

十七八歳の時ある觀相學者が彼の相を見て云つた。
「一生國を離れさへしなかつたら連れられるが、旅へ出たら劍難は免れ難い」

と、母も子も、今、それを不思出した。母も口にはしなかつた。勿論左京も厭な豫感に眉根をよせた丈だつた。これが一生の別れであらうことと思ひ乍ら敵討の旅に出た……。

五年の年月が流れていった。嘉永六年の春となつた。

故郷の飮肥を見る月花も、此處、肥後國熊本五十四萬石細川公の城下で見る月花も、何の變兩刀は差してゐたが、武士の氣持は捨ててゐた。

始め八重を連れ長崎に行つた高島秋帆の門下があつた。それには知合があつた。長崎では三年間暮らした。平凡だつた。

細川藩士、伊藤源左衛門と親しくなつた。源左衛門は學者だつた。源左衛門が歸る時、すこそそろ武士が厭になつた。

源左衛門の邸は池田村にあつた。源左衛門の父が隠居してゐた家が残つてゐた。京之進夫婦は此處に住居つた。其の家は梅窓庵と云つた。京之進も梅窓庵の主人らしく、詩を作つたり、發句を詠んだりした。

故郷の夢懷しき置炬燵劍をばつて立つ筈だつた京之進だから、漢詩や俳句は大して旨くはなかつたらう。

親兄弟に迷惑を掛け事を怖れて、五年の間一度も通信をしなかつたから、武士は捨てても人間は捨てるも京之進。故郷に在る年老いた兩親の事を思

ふ時、道に胸の塞がる思がするのだつた。

故だつたかな。さう思つて歩き出た。全く夜の領域に這入つて、月の無い杉馬場は暗かつた。一方は田圃で、一方は藤崎台の船になつて、杉木立の中には船になつて、杉木立の中には

に乞食小屋があつた。癪病患

者もゐた。晝は乞食で夜は泥棒

者もゐた。夜鷹が盛に出現する處

からつて追つ拂はれたものか

も知れない。京之進はまだ先刻

一丁計り歩くと、また先の聲

と同じ聲が聞えた。聲は確に、乞食小屋の方からだつた。變に心を惹かれる聲だつた。

死の断末魔の聲とも思はれた一つの小屋から灯が漏れてゐた。惹きつけられる様にその小屋の軒下に近づいた。破れた戸

の隙間から中を覗いた。瞬間、京之進は吃驚した。地獄の光景を見た様な氣がした。

廿五六歳になる女が後ろ手に紡られてゐた。猿轡がはめてある。土間に切つてある圓爐裡の前で倒れてゐる。その前に顔のむくんだ、眉毛の無い男が眞赤な顔をしてゐた。焼火箸を手に握つてゐるのである。それで女を突くものらしかつた。その男

は突然、眉間に蹙んで見えた。娘が後ろ手に紡られてゐた。猿轡がはめてある。土間に切つてある圓爐裡の前で倒れてゐる。その前に顔の

むくんだ、眉毛の無い男が眞赤な顔をしてゐた。焼火箸を手に握つてゐるのである。それで女を突くものらしかつた。その男

Pharmacia Japoneza
de Olavo & Queiroz
ALVARES MACHADO

日本薬局
肥田 善術
種痘無料 每日
ブレジヨン
ファミアーレ
アルマシア

日本新聞取次

日本薬局

日本品輸入商

日本郵船會社

日本郵船會社

日本郵船會社

日本郵船會社

日本郵船會社

日本郵船會社